

平成27年度予算概要

輝けえびな 優しいえびな

企画財政課 2358453

平成27年度は本市30年来の悲願であった海老名駅西口地区の「まち開き」が実現し、長年の夢が形となって実る年です。土地区画整理事業により誕生する次代へつなぐ新たなまち「扇町」は、海老名駅自由通路により駅東口と有機的に結びつき、市の魅力を新たなステージへ導くほか、生産年齢人口の増加、優れた居住環境の創出、活気ある商業施設の進出など、多面的な魅力の融和が期待されています。

この「まち開き」により、市は大きな節目を迎えますが、「次代へつなぐ新たなまちづくり」は終わりではなく、新たな出発点であると考えています。

また、27年度は大きな制度改正が予定されている年でもあります。24年度に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づき、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の拡充や質の向上を目指す「子ども・子育て支援新制度」では、

子ども・子育て支援計画を策定・実施することが求められており、市でも子育て支援の拡充や子育て環境の更なる改善に努めていきます。

さらに、教育行政における責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図ることを目的とした教育委員会制度改革では、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」の設置や総合教育会議の開催などを行います。今後、教育の政治的中立性を確保しながら教育委員会との連携強化を図り、市の教育行政の進化に努めていきます。

さまざまな魅力が結び付き、キラリと輝き続ける海老名。子どもや子育て世代、高齢者や障がい者にも優しい海老名。このような海老名市の実現に向けて、27年度に何を実施すべきか限られた財源の最適な配分について議論を重ね、「輝けえびな 優しいえびな」をキャッチフレーズとし、27年度予算を編成しました。

(施政方針・抜粋)

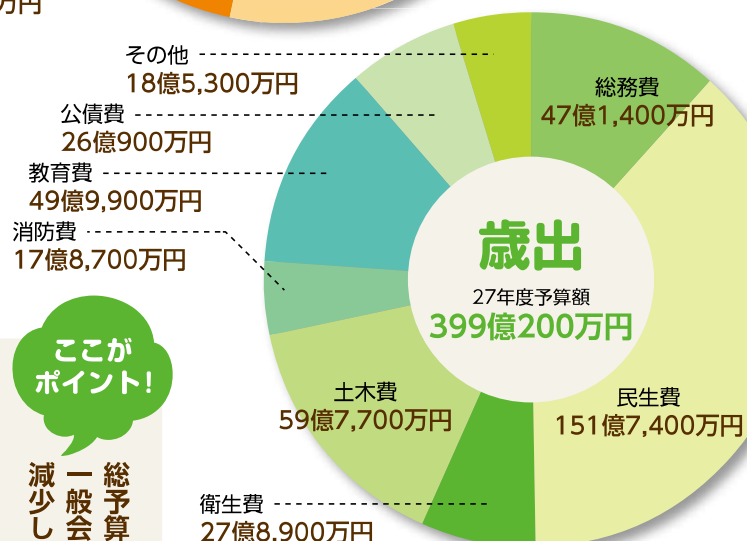
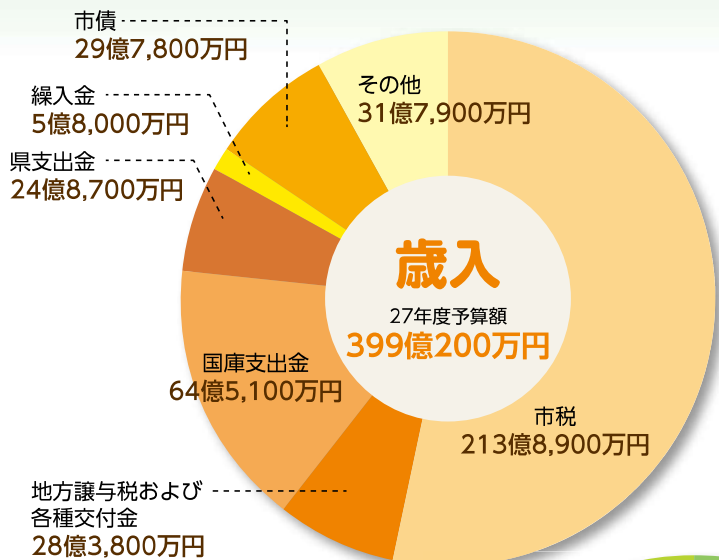
27年度予算規模

特別会計を加えた総予算規模はおよそ657億2800万円となり、過去最大となりました。

会 計 名		27年度当初予算額	対前年度伸率
一般会計		399億200万円	-3.5%
特別会計	国民健康保険事業	147億6,536万7,000円	9.9%
	下水道事業	33億6,646万4,000円	7.5%
	介護保険事業	63億8,664万4,000円	-0.9%
	後期高齢者医療事業	13億716万2,000円	7.3%
合 計		657億2,763万7,000円	0.2%

一般会計予算の内訳

一般会計予算額は前年度と比較し、14億4100万円、3.5%減額の399億200万円となりました。歳入では各種建設事業の完了などに伴う市債の大幅な減少、歳出では土木費の大幅な減少などが特徴です。



ここがポイント!

総予算額は過去最大なのに、一般会計の予算額が26年度より減少しているのはなぜ?

えびな市民活動センターや消防指令センターなどの整備事業が完了したことや、27年度から臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金制度などが縮小されたことにより、一般会計の予算規模が減少しました。

輝け! 未来へ! はばたく えびなっ子

27年度の重点事業

将来にわたり市が元気であり続けるためには、未来を担う子どもたちが元気で健やかに成長することが必要不可欠です。そのため市では、27年度を「子ども」に着目した事業を重点的に進める年としました。